

冬まつりを音楽が彩りました 飯館ジャズフェスティバル

11月26日、「いいたて村の道の駅までい館」のイベント広場を会場に、『第1回飯館ジャズフェスティバル』が開催されました。県内外から「太田圭輔カルテット」「ベティ&すわの杜カルテット」「大町一丁目トリオ」「Swingin Easily」の4バンドが集結。ジャズのナンバーを魅力たっぷりに演奏しました。

同じ会場で飯館村商工会主催の『いいたて冬まつり』も開催されていて(P24参照)、ジャズの演奏は夕刻に点灯されたイルミネーションともコラボ。光と音楽の溶け合う美しい景色が広がりました。



暮れなずむ空に、ジャズの調べが流れていきます。会場一体がしっとりロマンチックな雰囲気。

寒さに負けない体づくりを 楽しく元気に「テニス教室」

12月3日、「いいたてスポーツ公園」の屋内コート・屋外コートで、飯館村教育委員会・飯館村公民館(村生涯学習課)主催の『テニス教室』を開催しました。硬式テニスは南相馬市の佐久間光弘先生、

軟式テニスは飯館村役場テニスクラブが講師を務めました。

基本のレッスンも楽しい雰囲気、またゲーム形式のプレーも和やかに、参加者が心地よい汗を流しました。



幅広い年齢層の方が教室に参加。レッスンやゲームを通して、和やかに交流しました。



クリスマス・コンサートを開催 ジャズが彩る冬のひととき

村交流センターの自主文化事業「クリスマス・コンサート」が、12月3日、交流センター「ふれ愛館」で開かれました。第1部では、県立福島高校のジャズ研究部が「枯葉」「ブルーボッサ」など5曲を披露。初々しい演奏に会場から盛んな拍手が送られました。第2部では、ジャズ歌手の近藤淳さんが、「松島憲昭トリオ+1」をバックに、冬にちなんだ曲や、スタンダード・ナンバーから「シャレード」「ラブ・ミー・テンダー」などを披露。村内外から訪れた約80人が、一足早いクリスマス気分を味わいました。



近藤さんの癒しの歌声に満たされる会場。



福島高校ジャズ研究部のステージ。

「輝け 一人ひとりが主人公」をテーマに『生活発表会』を開催しました 12月3日、「までいの里のこども園」の園児たちが、練習の成果を存分に発揮し素敵な発表を行いました。



形遊び・手遊び・歌遊び

1歳児・つぼみ組



リズム遊び「山の音楽家」

0歳児・わかば組



劇「さんびきのこぶた」

3歳児・たいよう組



劇「てぶくろ」

2歳児・はな組



創作劇

5歳児・そら組



創作劇

4歳児・つき組



「厚揚げのじゅうねんがけ」など地元の食材たっぷりの献立。

学校田の新米が給食に登場! 感謝の気持ちで味わいました

11月24日、「いいたて希望の里学園」の給食に、1年生から6年生が収穫した「里山のつぶ」の新米が登場しました。前期課程では、佐藤博さん(二枚橋・須萱)の水田で、学校支援ボランティアの皆さんの協力の下、田植えや稲刈りを体験しています。この日は協力者の皆さんを給食に招いて新米を味わい、感謝を伝えました。子どもたちが「甘みがあってすごくおいしい」「ツヤツヤして香りがいい」と笑顔を見せると、佐藤さんは、「飯館のお米がおいしいと言ってもらえて、うれしいです」とやさしく話していました。

これまでの感謝を伝え、「体験を通して成長した。(前期課程修了で)最後となるのがさびしい」と6年生。